

丸之内だより

三月、柳の芽がほぐれるよ。陽炎の彼方からやつて来る春の足音。春は曙と云つた古人の言葉は、また違つた意味で現代に力強い息吹を通はせ、いま、重壓の冬が過ぎ去つて、遠く霞の中からやつて来る春の訪れをきくと、何かしら新しい明朗な時代へる曙光が感じられて、身も心も晴ればれとするのは、強ち私ひとりでもあるまい。

×

この非常時局に、何を云ふかと言はれる方もあるだらうが、私として時局を樂觀してゐるのではない。たゞ此の春のごとく、みんながもつと和やかな心をもつて、大空に手を伸ばすやうに豊かな氣持ちになつたら、各々のくらしがもつと樂になる事を思ふだけだ。

×

敵を對手としないのはよるしい。然し國民を對手とするのは最もよるしくない、あなたは國民と對立しやうとなさるのですか？ これは近衛首相に。

いまや國民を向ふにまわさんとする法案がでつちあげられやうとしてゐる。

×

あなた方は前へ出やうとするかわりに、何故自分自身をもつと高くしやうとなさらないのです？ これは×××諸氏に。

總理大臣級の年俸をよこせなら判るけれども、局長の椅子を興へるでは、あまりに淺ましくはないで

せうか。

内務省關係に次の異動がありました。

- 平川保一氏 群馬縣土木課長は岐阜縣へ。
- 宮崎正次氏 千葉縣土木課長は廣島縣部長に。
- 春藤春三氏 岐阜縣土木課長は内務省へ。
- 土肥憲二郎氏 長野縣土木部長は福岡縣へ。
- 熊田隆治氏 山形縣土木課長は群馬縣へ。
- 谷 堅氏 福井縣土木課長は和歌山縣へ。
- 寺田 甫氏 島根縣土木課長は宮崎縣へ。
- 長谷川勝伍氏 廣島縣土木部長は内務省へ。
- 後藤季總氏 和歌山縣土木課長は千葉縣へ。
- 坂本一平氏 福岡縣土木部長は勇退。
- 城戸鎖吉氏 宮崎縣土木課長は長野縣部長に。
- 中 忠義氏 沖繩縣土木課長は福井縣へ。
- 猿谷新太郎氏 沖繩縣土木課長に。
- 佐々木銑氏 山形縣土木課長に。
- 中村滿輔氏 島根縣土木課長に。

×

長府の十川嘉太郎氏がなくなられた。今年の正月、御夫妻で旅に出られ、九州の温泉で湯につかつたまゝ浴槽を枕に眠るが如く安らかに逝かれたと云ふ。哀惜に堪へない。しかし「主に在りて死ぬる人は福なるかな」である。何れ在りし日のことどもを書いて氏を偲びたいと思ふ。

土木建築工事畫報 第十四卷 第三號 定價金七拾錢 (稅二錢)		每月一回一日發行 一ヶ年十二册發行
普通購讀料 壹部七十錢 稅二錢 參ヶ月 貳圓 稅共 六ヶ月 四圓 同 一ヶ年 八圓 同 外國一部 七十八錢 稅 共	昭和十三年 二月廿六日印刷納本 昭和十三年 三月 一日發行 編輯兼印刷發行人 岡崎保吉 東京市豊島區長崎仲町二丁目三六二九 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地	關西支局 大阪市浪速區惠美須町 2丁目13 工事畫報社支局 電話 玆 86 番
注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂込の事但し六、ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便を差出します。	發行所 工事畫報社 東京市麹町區丸ノ内三丁目六 電話 九ノ内二六三三番 振替 東京七〇貳六五番	大賣捌所 東京堂・東海堂 大東館・北隆館

超高級

浅野ベロセメント

短期 高强度
工事期間 短縮
工事費 節約



(浅野セメント香春工場)



低発熱

浅野マスコンセメント

大塊コンクリート用

説明書御申込次第送呈

浅野セメント株式会社

東京丸の内・海上ビル新館

THE "KOJIGAHO"

AN ILLUSTRATED CONSTRUCTION REVIEW

VOL. 14, No. 3

Published Monthly by the Kojo-Gaho-sha

Tokyo Japan

大正十四年三月二十八日
昭和十三年三月二十八日
第三種郵便物
一月一回一日發行

土木
建築
工事
畫報
第十四卷
第三號

三菱 エレベータ

製作と据付

乗用エレベータ

給仕用エレベータ



貨物用エレベータ

電気自動階段

定價金七十錢
送料二錢

一手販賣店

三菱商事株式會社

機械部 東京丸ノ内・支店 出張所各地

三菱電機株式會社

本店 東京丸ノ内 製作所 神戸・名古屋・長崎